

相双宮農通信

第4号

令和元年12月

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）からのお知らせ

福島県相双地域で営農再開に向けて頑張っている農業者の皆さんの取組や、地域の農業の動きを紹介する「相双宮農通信第4号」です。

収穫期を迎えた相双地域ですが、今年は台風により多くの方が被害に遭われました。被害に遭われたみなさまにはお見舞い申し上げます。官民合同チームでは被害に遭われた農業者の方への支援についてご協力させていただきますので、お気軽に相談ください。

浪江町から青パパイヤを届けます！（浪江町）

浪江町の農業者である佐々木聖裕様は、避難先であるいわき市から通いで平成30年より営農再開され、現在「青パパイヤ」を栽培して2年目を迎えます。

青パパイヤは、具材の一つとしてサラダ、カレーなどがお薦めとのことで、シャキシャキした食感が楽しめるようです。また、酵素の力で肉を柔らかくすると言われており、**いわき市のタイ料理店のほか、官民合同チームがマッチングした東京都内の飲食店へも出荷**されました。佐々木様は、将来的には別の果樹等にも挑戦される予定で、浪江町の農業再生に向けて今後も頑張っていくとのことで、官民合同チームとしても応援してまいります。



収穫前の青パパイヤの木

ナツハゼを地域産品として提供！（飯舘村）

飯舘村の佐藤美代子様は、震災後平成27年より飯舘村の自宅付近でナツハゼの栽培を再開しました。飯舘村では昔から「やまおとこ」と呼ばれ、見た目がブルーベリーに似た酸味の強い果実をジャムなどに加工し販売や消費をしていましたが、流通量は限られていました。

佐藤様はこのナツハゼの知名度を上げ地域を盛り上げたいという想いがあり、官民合同チームでは、専門家による販路開拓支援を行いました。**この秋収穫されたナツハゼは、専門家によりたくさんのメニューが開発**され、銀座のレストランで期間限定で提供されるなど、普及に向けて頑張っています。みなさまもナツハゼをお店で見かけたら是非お試しください。



肉料理用ソース（左）とアイス（右）

今年収穫された「天のつぶ」を地元で販売！（富岡町）

富岡町の渡邊伸様は、震災後平成29年度からいち早く富岡で営農を再開し、食料米や飼料用米の作付を開始しました。地域における中心的な農業の担い手として、今後も活躍が期待されています。

渡邊様は「**地域の産品を地元で販売する事は重要**」とのお考えを持ちでもあり、官民合同チームでは、販路先としてJR富岡駅に併設のさくらステーションKINONEで地元富岡産米としての販売を提案し、平成30年3月から販売開始しました。

今年収穫されたお米「天のつぶ」は、KINONEにて12月から販売を予定しています。お近くにおこしの際は是非お立ち寄りください。※天のつぶ：福島県オリジナルのお米の品種



天のつぶ収穫風景

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）とは？

被災された事業者を個別訪問し、相談型のご支援を行うため創設された組織です。国、福島県、福島相双復興推進機構の三者で福島相双復興官民合同チームを構成しています。

そのうち、**営農再開グループ**では、東北農政局、福島県、福島相双復興推進機構の三者による農業者の戸別訪問を実施しています。

個別訪問：営農再開グループ員が訪問し、営農再開に向けての課題や農地利用予定等について、お話を伺います。

対象市町村：田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、葛尾村、双葉町、浪江町、飯館村

対象となる方：震災時に上記市町村で農業を行われていた方
今後上記市町村で新たに農業を行う方



お伺いした内容をふまえて、必要なお支援を行います

販路のご支援

「震災後下落した価格を回復させたい」

「生産拡大したいが販売先がない」

このようなお悩みには、専門家を派遣して販路開拓のご支援をします。

（※補助金（販路拡大ティアアップ事業）を活用しますので、農業者様の費用負担は発生しません。）

農業技術のご支援

「どの作物を栽培すべきかわからない」

「作物がうまく栽培できない」

このようなお悩みには、普及指導員などによる技術的なご支援をします。

諸制度の活用に向けたご支援

「補助金の申請方法がわからない」

「農業法人設立の進め方がわからない」

このようなお悩みには、訪問員がアドバイスを行います。

その他の取組

地域・集落での営農再開に向けた取組の支援

今後の担い手不足に対応するため、地域の中核として営農を続ける農業者の方への農地集積が円滑に行われるよう、市町村やJAと連携して農地のマッチングなどの支援活動を実施しています。

畜産の再開に取り組む事業者のネットワーク構築

震災によって失われた畜産事業者のネットワークや耕畜連携を復活するため、官民合同チームが各種企画（セミナーや先進地見学会、現地検討会等）を実施しています。

農地利用の意向確認

所有している農地の今後の利用意向についてもお聞きしています。農地貸出希望の方につきましては、今後市町村や担い手の方と連携し、貸出についてサポートさせていただきます。

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）

ご相談受付ダイヤル：024-502-1117

（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始を除く）

Webサイト <http://www.fsrt.jp>

公式Facebookはこちら

